

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)生野区新今里七丁目 有料老人ホーム 新築工事	
建設地	生野区新今里7丁目	
建築用途	有料老人ホーム	
建築主		
設計者		
敷地面積	658.99 m ²	
建築面積	413.68 m ²	
延床面積	2,806.41 m ²	
構造/階数	S造 / 地上9階	
完了年(予定)	2026年4月	
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)
B- BEE =0.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★		★ ★ ★ ★ ★ 30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		ラベル表示 有
2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0		Q のスコア= 2.6 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8
		Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 1.8
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3		LR のスコア= 3.1 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0
		LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0
3 設計上の配慮事項		
総合 大阪市生野区に計画された地上9階建て、S造の有料老人ホーム。 高効率設備や節水器具を採用し、省エネルギー性を高めた。		その他 特になし。
Q1 室内環境 化学汚染物質対策として、主要な内装材及び取付接着剤は全てF☆☆☆☆を採用し、館内は禁煙とした。	Q2 サービス性能 各居室は10m以上とし快適性に配慮した。 給排水配管は更新間隔の長い管材を採用することで、耐用性を向上させた。	Q3 室外環境 (敷地内) 植栽を道路に面して配置することで、良好な景観を形成した。 防犯性に配慮しエントランスなどに防犯カメラを設置することで、外部の状況を館内から確認できるようにした。
LR1 エネルギー 高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用。 躯体と仕上げ材が容易に分別できるよう下地構造はLGSとし、部材の再利用可能性向上に努めた。	LR3 敷地外環境 光害対策として、屋外広告は行わず敷地外環境に配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.5
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.9
配慮事項	特になし	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BEI][BEIm]
	- (相当)	0.80
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.82	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.82